

「カシランジア養護学校通学用バス整備計画」署名式



(右から) 西林総領事とシルヴァ会長

2007年3月12日、当館において、当館とカシランジア障害者を支える親と友の会（APAE）との間で、草の根・人間の安全保障無償資金協力に対する贈与契約署名式が行われ、西林万寿夫総領事、同団体のカルロス・アウグスト・ダ・シルヴァ会長他関係者3名が出席しました。

署名式において、西林総領事は、「今般の協力により送迎用マイクロバスを購入することで、生徒が安全に通学できることを期待している」と挨拶しました。



カシランジア APAE の関係者

シルバ会長からは「自分たちにとって今日この場にいることは大変大きな喜びである。私自身が以前から東洋文化の愛好者だが、連帯感はその美德の一つであり、連帯感は大勢の人々を助けるもの。今回、バス購入に関して資金援助をしていただけたということで、喜びに満ち溢れている APAE 関係者及び学校の生徒に代わり感謝を申し上げる」旨謝意を表しました。

案件名： カシランジア養護学校通学用バス整備計画
被供与団体： カシランジア障害者を支える親と友の会（APAE）
プロジェクト実施地： 南マト・グロッソ州カシランジア市

契約署名日： 2007年3月12日

供与限度額： 85,624 米ドル

案件概要： カシランジア APAE は 1986 年に設立され、現在 79 名の身体・知的障害者が通学している。その生徒は 91 年型の所有バスで送迎されているが、故障が多く、生徒が通学できないこともある。そのバスには車椅子昇降機やシートベルトも取り付けられていなく、安全面の問題が生じている。また、同バスは大型であることから、細い道に入れず、雨の日には車椅子を利用する生徒の送迎が困難である。この度の我が国の無償資金協力により、搬送用マイクロバスを購入することで、生徒が安全に通学出来るようになる。

供与品目： 車椅子昇降機付のマイクロバス



91年型の所有バス



老朽化したバスは故障が多い